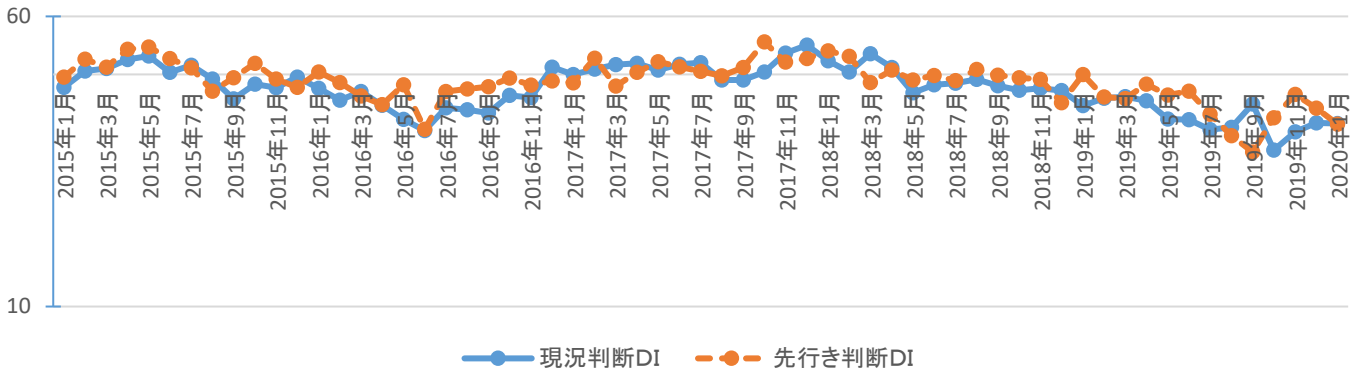


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2020年1月 景気判断理由 一部抜粋

		分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《お客様の様子》消費税増税後3～4か月たったため、少し客が10%での買物に慣れ、なおかつキャッシュレス化が進み5%還元も功を奏し、カード支払の消費が伸びている。特に個人の売上が増加し、良い方に進んでいる。【一般小売店〔贈答品〕（経営者）】	
		不変	《販売量の動き》新型コロナウイルスの影響はまだよくみえないが、心理的に悪影響となる。景況感は向上しつつあるが心配な要因である。【一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）】	
		やや悪	《お客様の様子》リフォームにおいても、塗装工事などの定期的に行わなければならないものの受注はあるが、大規模な増改築等が減ってきた。【住宅販売会社（従業員）】	
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》今年度はずっと低調だった北米自動車向け設備投資の引き合い数が増え、受注につながる案件も出てきた。【一般機械器具製造業（営業担当）】	
		不変	《受注価格や販売価格の動き》商品単価が消費税上げとともに値上げされているケースや、今期仕入価格というように、見積書等でも価格上昇が明確に分かるようになってきた。【建設業（営業担当）】	
		やや悪	《受注量や販売量の動き》受注量が大幅に減少している。当業界に限らずどの業種もおしなべて悪い。平年より10%ほどは落ちている。【鉄鋼業（経営者）】	
	雇用 関連	やや良	《求職者数の動き》法人関係、団体関係の新年会での利用が多かった。【人材派遣会社（社員）】	
		不変	《求職者数の動き》自動車メーカーによって異なるが、国内生産、海外輸出生産においても大きな変動もなく推移し、しばらく変わらない動向と見込まれる。【アウトソーシング企業（エリア担当）】	
		やや悪	《求職者数の動き》求人数の減少傾向が継続するなかで、新規求職者数が増加傾向にある。また、就職者数も減少している。【職業安定所（次長）】	
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性	
	家計 動向 関連	やや良	サポカー補助金の予算案により、3月から高齢者の車両購入に補助金が出る予定であり、一時的にはあるが、前年より販売台数は見込めると考える。【乗用車販売店（従業員）】	
		不変	新型コロナウイルスの影響は無視できず、外出を控えるため消費が落ち込むと見込まれるが、とにかく東京オリンピックまでは、上昇を期待したいところである。【スーパー（支店長）】	
		やや悪	新型コロナウイルスの影響でマスクが通常以上に売れているが、今後外出を控える傾向が出てくると、悪くなる可能性がある。【コンビニ（企画担当）】	
	企業 動向 関連	やや良	12月と同様、3月末決算で予算的にどの企業や自治体でも発生する作業等の発注が、例年どおりに実行されることがある程度明確になっている。【建設業（営業担当）】	
		不変	個人投資家の心理は明るくなっているが、含み益を実現させるほどではなく、また、個人投資家以外の個人は給与が上がっている実感がないことから、大きく消費に向かっているとは見えない。【金融業（企画担当）】	
		やや悪	粘土類の品質が落ちていることに加えて、3月頃には更なる値上げの情報が入っているが、製品価格に転嫁することは困難で利益が圧迫される。【窯業・土石製品製造業（社員）】	
	雇用 関連	やや良	2～3月は転職市場が活発になる時期でもあり、4月の入社に向けて決定者数が伸びると見込む。【民間職業紹介機関（営業担当）】	
		不変	企業の採用意欲は高いが、求職者は減少しておりマッチングが進んでいない。また、中小零細企業からは、先の見通しが不透明で不安を感じているとの声を聞く。【職業安定所（次長）】	
やや悪		同一労働同一賃金に向け、各社が人件費を抑制するため、採用に対して慎重な傾向が強まっている。【人材派遣会社（営業担当）】		